特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (NPO-IRI) 2019 年=令和元年 6 月 通常総会 決定

通常総会 スケジュール

【開催日、場所】2019 年 6 月 22 日(土) 於 IRI 本部(千葉市稲毛) 会議室

12:55 記念集合写真撮影 (希望者 全員)

13:00~15:30 IRI総会

15:30~16:30 IRI本部内 実験室見学/懇談(全員参加可)/ この間 IRI理事会

16:30~18:30 **懇親会** 場所 IRI 本部 懇親会費 当日徴収 2千円(全員参加歓迎)

<IRI本部所在地>

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1108-2 ユウキビル 4階 4FA IRI

電話:043-255-5481 FAX:043-255-5482

地図ご参照: http://www.a-iri.org/iri-jp/irimap.pdf

(白い小規模5階建て、ビルの手前を左折し右に入口、1階ピザハット店)

JR 総武線快速 稲毛駅 東口徒歩 15 分。東口からのバスで「ファミールハイツ行き」 もしくは「草野車庫行き」 バス停 園生団地入口前 直前。

総会議事

審議事項

1.1 平成 30 年度 事業報告

<資料① p.2>

1.2 平成30年度 決算報告

<資料② p.9>

1.3 平成 30 年度 監査報告

<資料③ p.12><監査報告書 p.21>

1.4 令和元年度(平成31年度)事業計画

含む、「一般財団法人」等、他の組織を設立する。<資料④p.13、⑧組織表・組織図 p.19,20>

1.5 令和元年度 (平成 31 年度) 予算計画 <資料⑤ p.15>

(解説) 令和元年度 活動予算書は、予期せぬ大きな委託などが入り、予算額をオーバーして使用するには、総会を再度開き承認を得なくてはならないので、決してオーバーしない金額を入れてある。

通常での実施は、参考資料 実施指針 <資料⑥ p.16>に沿う。

- **1.6 定款の改正**: <資料⑦ p.17>
- 1.6.1 (特定非営利活動の種類) 第4条に「(1) 科学技術の振興を図る活動」の項目を挿入追加。

理由:法改正により可能となった

1.6.2 (公告の方法) 第55条を「官報掲載」等から「法人のホームページに掲載」に変更

理由:現実に合わせ合理化し、経費の節減を図る

1.7 令和元年度 役員選出

<資料®「役員名簿」p.18>

- 2. 討議事項
 - 2.1 今後の発展方向など
 - 2.2 その他

1.1 平成 30 年度 事業報告 <理事会/総会 審議事項①>

(法第10条第1項関係様式)

平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

1 事業実施の報告

- (1)科学技術、文化、教育事業として、生体計測、代替医療、人間の潜在能力、理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及を行なった。
- (2) 保健、医療、福祉事業として、健康づくり、医療画像診断支援、保険・医療・看護・介護・福祉に関する教育・普及、「いやしのビル」計画の企画・推進、等を行なった。
- (3) 国内・国際交流事業として、国内外の一般人、学術研究者を対象とした、生命情報科学シンポジウム、関連出版支援等を行なった。 また、IT を活用した、種々の交流支援事業を行った。
- 2 事業の実施に関する事項 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
科学技術、 文化、教育 事業	生体計測、統合代替医療、人間の潜在能力、幸福社会理念政策、未来創造予測、 先端科学技術等による支援、等 に関する研究と成果の普及、等	通年	千葉、東京、全国 の研究機関、等	100	国内外一般人 多数	11, 469
保健、 医療、福祉 事業	健康づくり(長谷)、 医用画像診断支援、等(弘前)、 統合医療・代替医療とその研究・教育・ 普及、 「いやしのビル」計画の企画・推進、等	通年	長野、弘前、千 葉、東京、等	8 0	国内外一般 人 多数	5, 748
国内·国際 交流事業	国内外の一般人、学術研究者を対象とした生命情報科学シンポジウム開催、関連出版等支援、等また、IT を活用した、種々の交流支援事業を行う。	通年	東京、神奈川	6 0	国内外研究 者、一般人 多数	5, 404

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (IRI) 通常総会 2019 令和元年 6月 22日(土)開催

平成 30 年度 事業報告

平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日

本部 ならびに 情報・研究センター 報告 本部 報告 (在 千葉市稲毛区園生町)

事業計画の推進 以下の当法人の事業計画を統括し、推進した。

他法人の設立推進 (名称:国際総合研究機構 一般財団法人 (略称:IRI-F) が有力候補)

「一般財団法人」は設立も運用も容易なことから、資産の安全性やスポンサー候補との関係からも必要性が増し、すり合わせ準備中で、2019年度にも設立をめざす。

この中に、「潜在能力科学研究所」の設立をし、今後世界一のこの分野の研究所化を目指す構想である。 他法人を設立しても、現在の NPO 法人は残す必要が弘前支部の活動などで残す。

IRI総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任した。

本拠ビル計画 (仮称)「いやしのビル」構想 を、継続した。

・IRI総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任した。

NPO-IRIとしては、下記のような 2013 年から「絵にかいた餅」のような構想で出発したが、現時点では、その第一歩として、最初の拠点創りの可能性を追求している。なお、この財源は IRI とは別途を考えている。

2013 年 6 月に「いやしのビル」計画企画委員会(IP)を 2013 年 6 月 IP 設立以来、毎年の IRI 定例総会の承認を得て、「保健、医療、福祉事業」等に位置付け、情報研究センター内に「いやしのビル」計画企画委員会を立ち上げ、予算処置を含め、推進してきた。

IRI 全体の本拠との関連が深く、規模が大きいので、特別に、本部の項目に記す。

この間、「いやしのビル」計画企画委員会(IP)・討論会・戦略会議など十数回の会議を開催し、推進してきた。

大型スポンサー候補との関係にての実現の方法などの検討と交渉が継続された。本委員会設立時は、単に 絵に描いた餅に過ぎなかったが、これらの活動を継続し、具体化に繋げたい。但し、都心の地価が異常に高 騰しているので、都心では下落するまで待たなければならないかもしれない。

大型スポンサー候補等との関係で、当初の計画と別な形での目的実現の可能性も存在している。 平成30年度は、まだ企画段階で、物件が確定出来なかったので、実施は、次年度以降に継続する。 本企画経費は、「仮払金」扱いとなっている。

「いやしのビル」計画の企画・推進

山本 IRI 理事長を中心に、IRI の本拠ともする、(仮称)「いやしのビル」構想を10年以上前から提唱してきた。下記、都心「いやしのビル」計画を企画・推進し、実現する。千葉を中心に、他地方にもフランチャイズ方式などで普及を目指す。

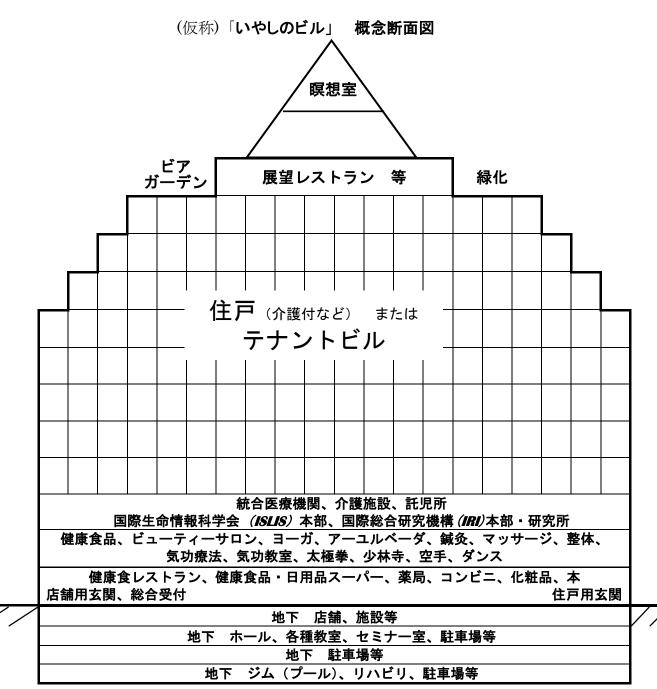
位置付け・所管・「いやしのビル」企画委員会の設置・予算処置

- ・本計画は、IRI 定款の(事業)第5条(1)②に定める、「保険、医療又は福祉の増進を図る研究と成果の普及事業」等に位置付けた。
- ・IRI 情報研究センター内に、「いやしのビル」企画委員会(委員長 山本幹男 IRI 理事長・IRI 情報研究センター長)を 2013 年に設置し、本件をこれが所管している。目的のための最適な計画、必要な法務・財務も含めて研究し、企画・実行した。
 - ・この実現のために、IRI の準備金(移転等)を活用する。
 - ・IRI 総会は、本件の具体化は理事会に一任した。

都心「いやしのビル」計画 概要

- 1.「(仮称) いやしのビル」を都心の駅5分以内程に建設する。
- 2. 建設用土地(商業地) 1,000 坪程を入手する。地主・企業・公共団体等の協力を得る方法も視野に入れる。
- 3. そこに、付加価値付のビルを建築する。
- 4. その内の、多くの部分は、「いやされたい方」にお住み頂く(この場合、初期投資の全部または大半を回収出来る。また、ビルの管理費の一部が確保できる)。他の良い方法も模索する。

- 5. 残りのスペースには、「いやしたい方」(統合医療機関、代替医療、IRI などを含む)や必要施設(会議室、スーパーなど)にご利用頂く。外来者にも開放する。(この事により、ビル運営費などが捻出できる。)
- 6. 企画・設計・土地・建物・諸費等の初期投資額は、概算数百億円規模となる。
- 7. この資金の大半は金融機関からの融資を受ける(大部分は数年の短期融資とする。場合によっては、一部は長期融資を受ける。)地主や企業・公共団体・スポンサー等の協力を得る方法も検討する。
- 8. 当計画の効果:
- ・「いやされたい方」・「いやしたい方」双方に喜ばれる、いやしの拠点ビルが実現し、将来の保険・医療・ 福祉等を先導するものとして、多大な貢献をする。
- ・雇用の促進:中規模以上のビルとなるので、このビルの企画・設計・建設・広報・開業・運営・保守の過程で、多くの雇用を促進する
- ・経済の活性化:数百億円規模の事業となるので、貢献する。



本構想の権利は NPO 法人国際総合研究機構(IRI)が所有しています。 禁無断類似 転載・企画・設計・建設

IT を活用した種々の交流支援

当機構や諸団体の活動には資金が必要で、クラウド・ファンディングなど、IT 技術を活用した種々の交流 支援活動で、可能なものを模索した。

情報・研究センター 報告 (中心 本部内、 分室、支部その他各地に分

- 「いやしのビル」計画は前の本部の項に記した。
- ・脳機能変化の研究 脳波など、脳機能変化の研究を継続した。

・統合医療・代替医療の評価研究

気を入れた生体試料のバイオフォトン・蛍光やガスの放射強度に関する研究。気功師等が非接触で気等を入れた、きゅうりの切口から放射されるフォトンやガスの放射強度が対照群と比し、統計的有意に変化する事に関する研究を継続発展させた。

潜在能力等の研究

散)

人間の潜在能力に関する実験的研究と普及を精力的に継続した。

(1)2013.4 研究論文「瞑想者のキュウリへの非接触効果」、(2)2015.5 研究論文「ピラミッド型構造物が関与した特異な非接触効果の発見」、(3)2016.6 研究論文「ピラミッド型構造物による未知なるフォースの発現」、(4)2018.3 研究論文「キュウリの季節に依存した生体反応リズムの発見」、(5)2018.4 研究論文「キュウリ切断面から放出されるガス濃度と成長軸の関係」(6)2019.3 研究論文「ピラミッド型構造物と人間の無意識との関連による未知なる遠隔作用の発見」に関する研究論文が国際誌に掲載された。引き続き、(7)(8)の研究論文も、現在、外国誌に投稿準備中である。

・ 生体計測サービス

健康に関わる製品やサービスなどの心身への影響を、生体計測を用いて実証する生体計測サービスを 継続実施した。

- ・テレビ番組制作に対する支援 テレビ番組制作に対する支援を継続した。
- 人間サイエンスの会

超党派国会議員による人間の「潜在能力」や「地球の未来」に関する研究討論を行う国会議員連盟「人間サイエンスの会」の講演会(一般人の参加も可)の共催・企画・運営支援は、主として国会議員会館内での開催が、2015年4月に創立より18年で173回となった。

この講演会は、その後議員会館の使用が困難などで中断され、2018年頃この国会議員連盟も解散された。 2018年1月に、この種の講演会のなんらかの形での再開を議員より申し入れられ、検討中。

• IRI-College

IRI-College の「潜在能力研究科」E-講座「脳を知ろう!」を河野貴美子 IRI 副理事長を中心として、ほぼ毎月1回東京にて粘り強く開催し続け、年度末までに累積75回継続した。この間、大学教授クラスの参加者も得ている。

他のテーマを立ち上げる方向も検討中。

・統合医療・看護・介護・福祉とその研究・教育・普及

本事業に取り組み、訪問看護・訪問介護などに関する研究・教育・普及など可能な事から実施する団体との連携中。

- ・国際生命情報科学会主催 「生命情報科学シンポジウム」、関連出版等支援
 - (1)「第46回」2018年8月24日(金)~27日(月)高野山近く 天然温泉「ゆの里」にて、開催を共催

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (IRI) 通常総会 2019 令和元年 6月 22日(土)開催

- し、支援した。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.36, No.2 の製作支援を行なった。
- (2)「第 47 回」2019 年 3 月 9 日(土)・10 日(日)東邦大学 医学部 3 号館 にて、開催を共催し、支援した。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.37,No.1 の製作支援を行なった。
- ・IRI 北杜健康研究センター

2013年10月1日付で設立した 理事長 高橋武生 趣意骨子:山梨県北杜市を中心として、健康法を研究開発し・実施し、普及を図る。 昨年度に継続し、活動を継続中。

•幸福社会研究所(WHI) (2012年6月創立)

平成 28 年度、理念創りとして、「地球幸福憲章」を、20回程の討論会・検討会の開催やネット上での議論を活発に実施し、起案した。それを「IRI 幸福社会研究所創立2周年記念「地球幸福憲章」検討会」・「IRI 幸福社会研究所の総会」に諮り、確定させた。2015.6 から毎年 IRI 総会日にも討論会を開催した。その後の「地球幸福憲章」の普及・組織活動などは、NPO-IRI から独立した、上部団体に属さない「地球幸福憲章ネットワーク」の「世界本部」や「日本本部」が実施することとした。その組織が、高名な提唱者や賛同者を集め、2014.9.9 に学士会館にて発表会と記者会見を実施した。2015.6 から毎年 IRI 総会日にも討論会を開催した。

・その他は、前年度を継続した。

平成 30 年度 事業報告 平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

弘前支部 報告

IRI 弘前支部は、引続き青森県内施設を中心に遠隔画像診断支援事業を行っているが、2015 年 10 月に仙台厚生病院の読影支援が終了して以来、収益は頭打ちの状況が続いている。

今年度は既存の青森県内医療機関からの依頼件数の増加及び新規取引として1施設拡大したものの、県内の施設の経営環境も良いとはいえず、収益の大幅増加には至らなかった。

以上

平成 30 年度 決算報告 (平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 3 1 日) IRI 弘前支部・H30 年度事業決算書

分類	科目	収入金額	支出金額
売上高	売上高(読影業務受託費)	¥5,788,314	
	売上高(その他)	¥0	
	売上金額合計	¥5,788,314	¥0
売上原価	売上原価(対医師業務謝金)		¥4,886,690
	売上原価(その他)		¥0
	売上原価合計	¥0	¥4,886,690
販売費 •	人件費		¥194,400
一般管理費	IRI本部経費分担金		¥150,000
	支払手数料		¥19,008
	家賃		¥0
	保守費		¥0
	預り金(源泉税)		¥498,650
	仮 受 金		¥0
	事務用品費		¥80
	諸 会 費		¥0
	販売費•一般管理費合計	¥0	¥862,138
営業外収益	受取利息		
	受取利息合計	¥0	¥0
利益	営業利益		¥39,486
	経常利益		¥39,486

平成 30 年度 事業報告 平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

長谷支部 報告

事 業 名 健康づくり事業

事業内容 地域活性化を図った「長谷気の里」構想の研究の中で、気功を活用し

た、健康づくりの調査研究

実 施 日 平成30年4月1日~平成31年3月31日

実 施 場 所 長野県伊那市長谷地域、及び岐阜、東京等

従 事 者 の 数 3名

受益対象者の範囲人数 研究者、伊那市長谷地域外一般人 多数

 収
 入
 0 千円

 支
 出
 0 千円

内 容:

長谷 気の里構想の一環として、分杭峠に発見された気場や人間の発する外気功等で施療を 行い、健康づくり、予防医療や予防介護等の調査、研究を行った。 **1.2 平成 30 年度 決算報告** (活動計算書) <理事会/総会 審議事項②>

(法第28条第1項関係様式)

平成30年度 活動計算書 平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日

	特定非営利		国際総合研究機構
科目	Ś	を額(単位:	円)
I 経常収益			
1 受取会費			
・年会費(入会金含む)	72,000		
·独自会費	124,000	196,0	000
2 受取寄附金	ŕ	,	
•受取寄附金	150,100	150,1	00
3 事業収益	100,100	100,1	.00
•科学技術、文化、教育事業収益	50,000		
•保健、医療、福祉事業収益	5,788,314		
・国内・国際研究交流事業収益	3,800,000	9,638,3	214
4 その他収益	3,800,000	9,030,0	014
	C 4 O		
•受取利息	649	100 (2.40
•雑収入	168,000	168,6	
経常収益計			10,153,063
Ⅱ 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当等	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
委託•協力経費	14,096,218		
旅費交通費	0		
消耗品	1,105,897		
会議費	98,096		
通信・光熱・水道費	307,251		
借料·移転費等	1,869,948		
印刷・成果発表経費	3,001,859		
減価償却	27,598		
維費	2,116,228		
その他の経費計	22,623,095	00.000.0	205
事業費計		22,623,0	195
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当等	211,250		
人件費計	211,250		
(2)その他経費			
委託•協力経費	1,307,750		
消耗品	4,471,011		
会議費	167,814		
通信•光熱•水道費	893,134		
借料•移転費等	1,646,644		
租税公課	0		
減価償却	0		
維費	153,726		
その他の経費計	8,640,079		
管理費計	0,010,010	8,851,3	329
経常費用計		0,001,6	31,474,424
当期経常増減額			-21,321,361
Ⅲ 経常外収益(前期繰越)			41,041,001
1 準備金	00.007.303		
・準備金(移転等)	23,927,692	00.050.0	200
2 新事業準備借入金(組織内)	5,322,308	29,250,0	
経常外収益計			29,250,000
IV 経常外費用			
1 準備金			
・準備金(移転等)	2,600,000		
(当期準備金支出 21,327,692円)			
2 新事業準備仮払金	5,322,308	7,922,3	308
経常外費用計			7,922,308
当期正味財産増減額			6,331
前期繰越正味財産額			290,968
			297,299

1.2 平成 30 年度 決算報告(貸借対照表)

(法第28条第1項関係様式)

平成30年度貸借対照表平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科目・摘要	1,7,2,7	<u> </u>	
I 資産の部		亚 映	
1 流動資産			
現金預金	6, 428, 181		
前払い金	0, 120, 101		
仮払い金	5, 322, 308		
未収金	4, 329, 848		
流動資産合計	1, 020, 010	16, 080, 337	
/加罗灵/王日刊		10, 000, 001	
2 固定資産			
有形固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			16,080,337
 Ⅲ 負債の部			
1 流動負債			
前受け金	3, 000, 000		
・未払い金	4, 860, 730		
流動負債合計	1,000,100	7, 860, 730	
2 固定負債		,, 000, 100	
· 負債	0		
固定負債合計		0	
3 準備金			
準備金 (移転等)	2,600,000		
新事業準備仮払金	5,322,308		
準備金合計		7, 922, 308	
負債合計			15, 783, 038
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		290, 968	
当期正味財産増減額		6, 331	
正味財産合計			297, 299
負債及び正味財産合計			16, 080, 337

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計 基準協議会) によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 固定資産の増減の内訳

科目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産						
什器備品	1,355,359	0	0	1,355,359	$\triangle 1,355,359$	0
合計	1,355,359	0	0	1,355,359	$\triangle 1,355,359$	0

1.2 平成30年度 決算報告 (財産目録)

(法第28条第1項関係様式)

平成 30 年度財産目録 平成 31 年 3 月 31 日現在

	活動法人 国		
科 目・摘 要		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金 (情報・研究センター)	78, 770		
手元現金 (NS)	0		
手元現金 (IRI-College)	104, 300		
みずほ銀行普通預金①(小口)	4, 077, 080		
みずほ銀行普通預金②(大口)	102, 041		
みずほ銀行普通預金③(引落用1)	103, 601		
みずほ銀行普通預金④(引落用 2)	22, 372		
みずほ銀行普通預金⑤ (IRI-College)	318, 676		
みずほ銀行普通預金⑥ (NS部会)	357, 953		
みずほ銀行普通預金⑦ (弘前支部)	196, 974		
みずほ銀行普通預金⑧(幸福科学研究所)	274, 070		
みずほ銀行普通預金⑨	100		
ゆうちょ銀行①	76, 032		
ゆうちょ銀行② (IRI-College)	610, 215		
ゆうちょ銀行③ (幸福科学研究所)	15, 717		
ゆうちょ銀行④ (NS部会)	89, 990		
上伊那農業協同組合普通預金	290		
京葉銀行定期預金	0		
都民銀行定期預金	0		
仮払い金(新事業準備)	5, 322, 308		
未収金 (NS)	0		
未収金 (情報・研究センター)	3, 800, 000		
未収金 (弘前支部)	529, 848		
流動資産合計	020, 010	16, 080, 337	
2 固定資産		10, 000, 001	
有形固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計		· ·	16,080,337
Ⅲ 負債の部			10, 000, 001
1 流動負債			
前受け金	3, 000, 000		
未払い金	3, 000, 000		
情報・研究センター事業委託費・経費	4, 361, 122		
国際・研究センター事業安託賞・経賞 弘前支部読影料・読影委託料・手数料等	4, 361, 122		
	499, 608	7, 860, 730	
流動負債合計		1,000,130	
2 固定負債			
負債	0		
固定負債合計		0	
3 準備金 (44 年 27) (24 年 21 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22	0.000.000		
準備金 (移転等) (当年度 21,327,692円減)	2,600,000		
新事業準備仮払金	5,322,308	Z 000 000	
準備金合計		7, 922, 308	
			15, 783, 038
正味財産合計			297, 299

1.3 平成 30 年度 監査報告 <理事会/総会 審議事項③>

北川壽昭監事と大山玄監事による、 特定非営利活動法人 国際総合研究機構の 平成30年4月1日から 平成31年3月31日までの平成30年度の事業報告、事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について監査が行われた。その結果の 監査報告書を最終項に添付した。

1.4 令和元年度 事業計画 <理事会/総会 審議事項④>

(法第10条第1項関係様式)

令和元年度 事業計画書

平成31年4月1日~令和2年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

1 事業実施の計画

- (1) 科学技術、文化、教育事業として、生体計測、代替医療、人間の潜在能力、理念政策、 未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及を行なう。
- (2) 保健、医療、福祉、町創り事業として、健康づくり、医療画像診断支援、保険・医療・看護・介護・福祉に関する教育・普及、「いやしのビル」計画・街創りの企画・推進、等を行なう。
- (3) 国内・国際交流事業として、国内外の一般人、学術研究者を対象とした、生命情報科学シンポジウム、関連出版支援等を行なう。 また、人的並びにITを活用した、種々の交流支援事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
科学技術、 文化、教育 事業	生体計測、統合代替医療、人間の潜在能力、幸福社会理念政策、未来創造予測、 先端科学技術等による支援、等 に関する研究と成果の普及、等	通年	千葉、東京、全国 の研究機関、等	100	国内外一般 人 多数	70, 000
保健、 医療、福祉、 街創り 事業	健康づくり(長谷)、 医用画像診断支援、等(弘前)、 統合医療・代替医療とその研究・教育・普及、 「いやしのビル」計画・街創りの企画・ 推進、等	通年	長野、弘前、千 葉、東京、等	8 0	国内外一般 人 多数	80,000
国内·国際 交流事業	国内外の一般人、学術研究者を対象とした生命情報科学シンポジウム開催・関連出版等支援、等また、人的並びにITを活用した、種々の交流支援事業を行う。	通年	東京、神奈川	6 0	国内外研究 者、一般人 多数	10,000

令和元年度 事業計画 平成 31 年 4 月 1 日~令和 2 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

本部 ならびに 情報・研究センター 計画

本部 計画 (在 千葉市稲毛区園生町)

事業計画の推進 以下の当法人の事業計画を統括し、推進する。

他法人の設立推進 (名称:国際総合研究機構 一般財団法人 (略称:IRI-F) が有力候補)

「一般財団法人」は設立も運用も容易なことから、資産の安全性やスポンサー候補との関係からも必要性が増し、2019年度にも設立をめざす。

この中に、「IRI 潜在能力科学研究所」の設立をし、今後この分野の世界一の研究所化を目指す。 他法人を設立しても、現在の NPO 法人は残す必要が弘前支部の活動などである。

・IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

本拠ビル計画 (仮称)「いやしのビル」構想

他財源活用にて、その第一歩を踏み出す構想の可能性を追求する。 本構想は他資金にて行うので、当機構としては、今までのような、巨額の予算計上は行わない。 ・IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

人的並びに IT を活用した種々の交流支援

人的並びに IT 技術を活用した種々の交流支援活動で、可能なものを模索し実施する。 特に、大学や他の研究機関との連携は、優秀な人材確保のためにも急務である。

人材の公募を開始

研究・技術・建築設計士・IT 広報・事務・秘書など、各種人材の公簿を実施する。 勤務地は、当面は千葉市稲毛区 JR 総武線 快速停車駅 近辺。

自薦、他薦者は、山本幹男理事長まで、<u>nsnpoiri@gmail.com</u> 090-9232-9542 Fax 043-255-9143 書類送付先: 理事長分室 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台 2-13-31 Peace 山本幹男

情報・研究センター 計画 (中心 本部内、 分室、支部その他各地に分散)

- ・先端科学技術等・街創り等に関する研究・教育・普及・推進・支援を本年度より新規に、資金導入量に従って実施する。
- ・国際生命情報科学会主催 「生命情報科学シンポジウム」、関連出版等支援
 - ・「第 48 回」2019 年 8 月 23 日 (金) ~26 日 (月) 福島県耶麻郡猪苗代町 猪苗代観光ホテルにて、開催を共催し、支援する。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.37, No.2 の製作支援を行なう。
 - ・「第 49 回」 2020 年 3 月 14 日(土)・15 日(日) 東邦大学 医学部 3 号館 にての開催予定 (日にち会場が今後変更となることもある)を共催し、支援する。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会 誌「Journal of International Society of Life Information Science」 Vol.38,No.1 の製作支援を行なう。
- その他は、前年度を継続する。

令和元年度 事業計画 平成31年4月1日~令和2年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

弘前支部 計画

1. 依頼件数増により一定の利益を上げられることが見込まれるため、引き続き新規施設開拓および既存施設の深堀りにより前年度比10%増の売上を目指す。 今後とも、質の高い読影レポートの提供により、着実に依頼件数を増やし、地域放射線医療に貢献していく。

2. 今期の計画

- 1) 読影の依頼を受ける青森県内施設数を現状の7施設から9施設に増大する。
- 2)既存施設の深堀を進めるため、関係者との良好な関係構築やレポートの満足度向上による依頼件数増を狙う。
- 3) 遠隔読影に使用しているコンピュータシステムのセキュリティ向上、モニターの更新を行いさらなる安全かつ品質向上を目指し環境を整備する。

長谷支部 計画

事 業 名 健康づくり事業

事業内容 地域活性化を図った「長谷気の里」構想の研究の中で、気功を活用し

た、健康づくりの調査研究

実 施 日 平成31年4月1日~令和2年3月31日

実 施 場 所 長野県伊那市長谷地域、及び岐阜、東京等

従事者の数 10名

受益対象者の範囲人数 研究者、伊那市長谷地域外一般人 多数

収 入 110千円

支 出 110 千円

内 容:

長谷 気の里構想の一環として、分杭峠に発見された気場や人間の発する外気功等で施療を 行い、健康づくり、予防医療や予防介護等の調査、研究を行う。

.5 令和元年度予算計画 <理事会/総会 審議事項⑤>

(法第28条第1項関係様式)

令和元年度 活動予算書 平成31年4月1日~令和2年3月31日

]際総合研究機構
日 発皮法		4	を 観(単位 : 円)
・				
・	1 受取会費			
・受自会費		200,300		
2 受責審评金				
・受政者中全 200,000,300 200,000,000 3 事業収益 10,000,300 160,000,000 160,000,000 160,000,000 160,000,000 160,000,000 160,000,000 160,000,000 160,000,000 160,000,000 160,000,000 160,000,000 160,000,000 310,0			,,.	
3 事業収益 ・ 科学技術、大化、教育事業収益 ・ 科学技術、大化、教育事業収益 ・ 科学技術、大化、教育事業収益 ・ 10,000,300 ・ 国内・国际で突欠演事業収益 ・ 全共利息 ・ 100,000,300 ・ 100,000,300 ・ 大神貴者 ・ 100,000,300 ・ 大神貴者 ・ 100,000,300 ・ 大神貴者 ・ 100,000,300 ・ 法律交通費 ・ 15,000,300 ・ 法律交通費 ・ 15,000,300 ・ 法律交通費 ・ 10,000,300 ・ 法律 ・ 第一次表生 10,000,300 ・ 法律 ・ 第一次表生 10,000,300 ・ 法律 ・ 11,000,300 ・ 全種費 ・ 2,000,300 ・ 注注 ・ 11,000,300 ・ 全種・統立会 ・ 20,000,300 ・ 全種・統立会 ・ 20,000,300 ・ 会種・統立会 ・ 20,000,300 ・ 会種・ 20,0		200,000,300	200,000,000	
・ ・		211,111,111	211,101,000	Î
「保険、極能・事業以益 10,000,300 160,000,000 1 その他収益 10,000,300 160,000,000 1 をの他収益 10,000,300 310,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000 340,000,300 340,000		70,000,000		1
・回向・国政宗宇文治事業収益				î
子の他収益				
・受政利息 ・接収入 300,300 310,000 32(次) 310,000 (経常放動計 1 海栄養 1 事業費 21)人件費 治化学当等 100,000,300 (2) その他妊費 100,000,300 (3) 表別・大道費等 100,000,300 (4) 表別・大の他の経費計 2,000,300 (4) 表別・大道費等 20,000,300 (4) 表別・大道費等 10,000,300 (4) 表別・大道費等 3,000,300 (4) 表別・大道費等 5,000,300 (4) 表別・大道費等 5,000,300 (4) 表別・大道費等 5,000,300 (4) 表別・大道費等 5,000,300 (4) 表別・大道費等 3,000,300 (4) 表別・大道費等 5,000,300 (4) 表別・大道費等 5,000,300 (4) 表別・大道費等 5,010,300 (4) 表別・大道費等 5,010,300 (5) 表別・大道費等 5,010,300 (5) 表別・大道費等 (5) 表別・大道登等 (5) 表別・大道登算 (5) 表別・大道管理 (5) 表別・大道登算 (5) 表別・大道登算 (5) 表別・大道登算 (5) 表別・大道登算 (5) 表別・大道登算 (5) 表別・大道登録 (5) 表別・大		10.000.000	100.000.000	1
・ 接収入 300,300 310,000 362,510,00 田 延常支圧 362,510,00 田 52		10 200		
田 延常兼用 362,510,000 日 362,51				1
1 事業費		300,300	310,000	
1 事業費 (1)人件費 (2) 大件資計 100,000,300 人件資計 100,000,300 (2) その他品費 100,000,300 旅費で通費 15,000,300 旅費を通費 15,000,300 強能・光熱・水道費等 10,000,300 増料・実験を基準 6,000,300 対価値が 2,000,300 対価値が 2,000,300 対価値が 2,000,300 対価値が 2,000,300 対力を必要 1,71,000,300 を表費 8,000,300 を表費 8,000,300 を表費 20,000,300 (2) 管理費 20,000,300 人件資計 20,000,300 済施品 3,000,300 済施品 3,000,300 会費費 20,000,300 協能・対象・水道費等 10,000,300 協能・対象・水道費等 5,000,300 協能・対象・水道費等 10,000,300 協能・対象・水道費等 5,000,300 を表費 2,000,300 協能・対象・水道費等 10,000,300 協能・対象・水道費等 5,000,300 を表費 3,000,300 を要費 3,000,300 を要費 3,000,300 を要費 5,000,300 を要費 5,010,300 を要要者 5,010,300 を要要者 5,010,300 を要要者 5,010,300 を要素を要素を含めるを要素を表していまた。 7,922,308 を要素を表していまた。 7,922,308 を要素を表してい	_			362,510,000
(1)人件費 (100,000,000 人件責針 (100,000,000 人件責針 (100,000,000 人件責針 (100,000,000 旅走景 (15,000,000 旅走景 (15,000,000 旅走景 (10,000,000 旅走景 (10,000,000 旅走景 (10,000,000 旅走景 (10,000,000 旅走景 (10,000,000				1
特化学当等				1
人件責計				1
(2) その他任要				
を託・協力延費 100,000,300		100,000,300		
株養交通費 15,000,300 13年品 10,000,300 会教費 10,000,300 会教費 10,000,300 金額子 10,000,300 日本 10,000,300				
消耗品				
会験費 10,000,300 通信・光統・水道費等 10,000,300 信下・移転費等 6,000,300 対価値却 2,000,300 非費 8,000,300 その他の極費計 171,000,300 享業費料 20,000,300 (1)人件費 20,000,300 (2)その他極費 20,000,300 (3)その他極費 20,000,300 消耗品 3,000,300 通信・光統・水道費等 10,000,300 通信・光統・水道費等 10,000,300 通信・光統・水道費等 10,000,300 極形・移転費等 5,000,300 担任後期 3,000,300 を接費 1,000,300 を接費 1,000,300 を変費 5,000,300 担任後期 3,000,300 を変費 1,000,300 を変費 1,000,300 を変費 1,000,300 を変費 1,000,300 を変費 1,000,300 を変費 1,000,300 を変費 1,000,300 を変費 1,000,300 を変費 1,000,300 を変費計 5,010,300 その他の極費計 5,010,300 を変費計 5,022,308 を変力のののののののののののののののののののののののののののののののののののの				
通信・光熱・水道費等 6,000,300 日常・緑田麦等 6,000,300 日常・成果発送量費 10,000,300 日常・成果発送量費 10,000,300 接費 2,000,300 名 2,000,300 名 2 管理費 171,000,000 271,000,000 2 音理費 20,000,300 (2) その地位要費 20,000,300 (2) その地位要費 20,000,300 (2) その地位要費 20,000,300 (2) その地位要費 20,000,300 (3) を終費 20,000,300 (4) を終止を持ちまままままままままままままままままままままままままままままままままままま				
情形・輸転費等 6,000,300 回間・成果発表型費 10,000,300 減価値却 2,000,300 経費 8,000,300 その他の極費計 771,000,300 主義費 10人件費 271,000,000 2 管理費 20,000,300 人件費所 20,000,300 (2)その他延費 20,000,300 消耗品 3,000,300 強能・液力基費 20,000,300 通信・光軟・水道費等 10,000,300 通信・光軟・水道費等 5,000,300 程序・領社費等 5,000,300 経費 5,000,300 経費 1,000,300 経費 5,000,300 経費 1,000,300 経費 1,000,300 を必要所計 2,010,300 を対象に対象値 22,500,00 私対象に対象値 22,500,00 (3 所事報達得金修入金(記錄件) 5,322,308 不)922,30 (4 常外費用 7,922,308 (5 所事報達得金修入金(記錄件) 5,322,308 (6 所)10,000 (7 所事報達得金修入金(記錄件) 5,322,308 (6 所)10,000 (7 所事報達得金修入金(記錄件) 5,322,308 (7 所)22,308 (6 所)10,000 (7 所)22,308 (7 所)22,308 (7 所)22,308 (8 対外費用計 7,922,308 (8 対外費用計 7,922,308				
10,000,000 液性酸却				
10,000,000 液性酸却		6,000,300		
対価値印	印刷·成果発表極身			
接費 8,000,300				
での他の極貴計 171,000,300 271,000,000 2 管理費 20,000,000 271,000,000 2 管理費 20,000,300 人件費件 20,000,300 人件費件 20,000,300 通信・光熱・水道費等 20,000,300 通信・光熱・水道費等 20,000,300 通信・光熱・水道費等 10,000,300 通信・光熱・水道費等 10,000,300 通信・光熱・水道費等 3,000,300 通信・光熱・水道費等 3,000,300 通信権却 3,000,300 通信権却 3,000,300 通信権却 3,000,300 通信権却 3,000,300 通信権却 3,000,300 通信権力 3,010,300 至 参考 1,010,300 至 参考 1,010,300 至 使理费計 29,010,300 至 参考 1,010,300 至 参考 1,010,300 至 参考 1,010,300 至 第 李建治律金信人金(紅港内) 5,322,308 7,922,308 不 多 2,600,300 2 所 李建治律金信人金(紅港内) 5,322,308 7,922,308 不 多 2,500,300 2 所 李建治律金信人金(紅港内) 5,322,308 30,422,308 30				
事業会計・ 271,000,000 2 管理会 20,000,300 (1)人件会計 20,000,300 人件会計 20,000,300 (2)その他基会 20,000,300 海底品 3,000,300 会融費 2,000,300 通信・光熱・水道会等 10,000,300 通信・活動に会等 3,000,300 銀行へ場 1,000,300 減価値知 3,000,300 経費 5,010,300 管理会計 69,010,000 管理会計 69,010,000 監禁外収益 22,500,00 1 適情会(参配等) 2,600,300 2 新事業準備金(多配等) 2,600,300 2 新事業準備金(多配等) 7,922,308 経常外費用 1 1 適情金(多配等) 23,100,300 2 新事業準備金(仮式会) 5,322,308 基質外費用計 30,422,308				
2 管理費 (1)人件費 (1)人件費 (20,000,300 人件費針 (2)その他極費 委託・協力極費 (3,000,300 済施品 (3,000,300 金融費 (2,000,300 金融費 (2,000,300 金融度・光熱・水道費等 (10,000,300 金融行・移転費等 (10,000,300 強能(額) (3,000,300 接援費 (1,000,300 接援費 (3,000,300 接援費 (3,000,300 接援費 (3,000,300 をつ他の極費計 (3,000,300 を受けの極費計 (3,000,300 を受けの極費計 (3,000,300 を受けの極費計 (3,000,300 を受けの極費計 (3,000,300 を受けの極費計 (3,000,300 を受けの極費計 (3,000,300 を関連費計 (3,000,300 を関連費計 (3,000,300 (3,000				
(1)人件費			,,	
安下子当等 20,000,300 人件資計 20,000,300 (2)その他基費 20,000,300 (前経品 3,000,300 前経品 3,000,300 (前経品 3,000,300 (前経・対象・水道費等 10,000,300 (前経・対象・水道費等 5,000,300 (前径・対象・対策を関す 3,000,300 (前径・対象・対策を関す 3,000,300 (前径・対象・対策を関す 3,000,300 (前径・対象・対策を関す 3,000,300 (前径・対象・対策を関す 3,000,300 (前径・対象・対策を関す 3,000,300 (前径・対象・対策を関す 29,010,300 (69,010,000				1
人件費針 20,000,300 (2)その他極費 20,000,300 海純品 3,000,300 会職費 2,000,300 通信・光熱・水道費等 10,000,300 衛行・移転費等 5,000,300 推修本 1,000,300 接費 5,010,300 その他の極費針 19,010,300 管理費針 69,010,000 経常外財益 22,500,00 延常外収益 2,600,300 1 海情金(前朝通道) 2,600,300 2 新事業連帶金門入金(紅綠內) 5,322,308 7,922,30 7,922,30 1 海情金(李軟等) 23,100,300 2 新事業準衛金(仮払合) 5,322,308 延常外費用針 30,422,308		20,000,000		Î
(2)その他怪費				î
参託・協力基券 20,000,300 (20,000,000		î
消耗品 3,000,300 会験費 2,000,300 通信・光熱・水道費等 10,000,300 個形・移転費等 5,000,300 超形へ程 1,000,300 接費 5,000,300 を受け 3,000,300 を対象に対象 2,500,000 を対象に対象 2,500,300 を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対		20,000,000		1
会験費 2,000,300 通信・光熱・水道費等 10,000,300 億年・移転費等 5,000,300 組従へ堰 1,000,300 減価値割 3,000,300 接費 5,010,300 その他の極費計 5,010,300 その他の極費計 5,010,300 を対費用計 69,010,000 延常費用計 69,010,000 延常費用計 22,500,00 正 極常外収益 22,500,00 正 極常外収益 22,500,00 2 新事業連得金倍入金(紅油内) 5,322,308 ほど外収益計 7,922,308 ほど外費用 30,422,308				ì
通信・光熱・水道黄等 10,000,300 億ド・移転費等 5,000,300 組能へ軽 1,000,300 接黄 3,000,300 経費 5,010,300 その他の極費計 5,010,300 管理費計 69,010,000 経営費用計 82,500,00 正 結常外収益 22,500,00 正 結常外収益 22,500,00 2 新事業連售金借入金(組織内) 5,322,308 7,922,308 経営外収益計 7,922,30 び 1 連售金 ・ 連售金 (等転等) 2,600,300 2 新事業連售金借入金(組織内) 5,322,308 7,922,308 経営外収益計 7,922,30 び 1 連售金 ・ 連售金 (等転等) 23,100,300 2 新事業連售金(仮払合) 3,322,308 延対外費用計 30,422,308				
信託・移転費等 5,000,300 租赁公嘱 1,000,300 接債 3,000,300 接債 3,000,300 を受し 5,010,300 をの他の極費計 5,010,300 管理費計 69,010,000 単類極度 22,500,00 単類極度 22,500,00 単類極度 22,500,00 単類極度 22,500,00 単類極度 22,500,00 を対象の 2 新事業適情金信人金(記錄内) 5,322,308 7,922,308 移業外収益計 23,100,300 で 2 新事業適情金(必要を) 23,100,300 で 2 新事業適情金(必要を) 23,100,300 で 2 新事業適情金(必要を) 30,422,306 極端外費用計 30,422,306				
程院小帳 1,000,300 液価値印 3,000,300 接費 3,010,300 をの他の極費計 5,010,300 管理費計 69,010,000 を対象用計 69,010,000 を対象用計 22,500,00 延常外収益 22,500,00 近端外収益 22,500,00 近端常の情報を 2,600,300 2 新事業準備を借入を(記線内) 5,322,308 7,922,308 不,922,308 不		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		1
液価値印				1
経費 5,010,300 その他の極景計 :9,010,300 管理費計 :9,010,300 極度費計 :9,010,000 延度費用計 :9,010,000 延度費用計 :2,500,00 正 経常外収益 :2,500,00 2 新事業連備金倍入金(記線内) 5,322,308 7,922,308 延度外収益計 :2,600,300 2 新事業連備金倍入金(記線内) 5,322,308 7,922,308 「「 経常外費用 :2,100,300 2 新事業連備金(変配等) :2,100,300 2 新事業連備金(変配等) :30,422,306 極度外費用計 :30,422,306				1
その他の極養計 49,010,300 管理費計 69,010,000 延常養用計 340,010,00 当期極常増減額 22,500,00 正 極常外収益 2,600,300 2 新事業準備金僧入金(組織内) 5,322,308 环境外収益計 7,922,308 び 差外外費用 25,100,300 2 新事業準備金(仮送合) 30,422,306 極端外費用計 30,422,306				1
管理費計 69,010,000 「経営費用計 340,010,00 当期経常増減額 22,500,00 「経常外収益 2,600,300 2 新事業準備金僧入金(記線内) 5,322,308 7,922,308 「経常外収益計 7,922,30 「経常外費用 25,100,300 2 新事業準備金(仮送会) 25,100,300 2 新事業準備金(仮送会) 5,322,308 30,422,308				1
340,010,00 当期経常増減額 22,500,00 1 経常外収益 22,500,00 1 連備金(前期漁域) 2,600,300 2 新事業連備金倍入金(組織内) 5,322,308 7,922,30		-9,010,300	60 010 040	1
当期極常增減額 22,500,00 II 極常外収益 1 適情金(前期漁域) ・ 適情金(前期漁域) ・ 適情金(砂転等) 2,600,300 2 新事業適情金倍入金(組織内) 5,322,308 7,922,308 「 延常外費用 1 適情金 ・ 適情金(砂転等) 25,100,300 2 新事業適情金(仮式合) 5,322,308 30,422,308 極端外費用計 30,422,308			03,010,000	
■ 経常外収益 1 追情金(前期漁電) ・追情金(前期漁電) 2,600,300 2 新事業連情金倍入金(記漁内) び 経常外費用 1 遺情金 ・追情金(砂転等) 2 新事業連情金(仮払合) 2 新事業連備金(仮払合) 2 5,322,308 30,422,308 30,422,308				
1 遠情金(前期操動)				22,500,000
・追情金(移転等) 2,600,300 2 所事報準情金借入金(記錄内) 5,322,308 7,922,308 経営外収益計 7,922,30 IV 経常外費用 1 遺情金 ・遺情金(移転等) 25,100,300 2 所事報準情金(仮払合) 5,322,308 30,422,308 経営外費用計 30,422,308				ļ
2 新事業通情金倍入金(記錄內) 5,322,308 7,922,308 7,922,308				
5				1
IV 極常外費用 1 適情金 ・適情金(等転等) 25,100,300 2 新事業活情金(仮払合) 5,322,308 30,422,308 極端外費用針 30,422,30		5,322,308	7,921,308	
1 準備金 ・海衛金(珍紀等) 25,100,300 2 新事業準備金(仮払合) 5,322,308 30,422,308 極常外費用針 30,422,30				7,922,308
・適情金(等転等) 25,100,300 2 新事業造情金(仮払合) 5,322,308 30,422,308 極常外費用針 30,422,30				
2 所事業準備金(仮払合) 5,322,308 30,422,308 30,422,308 30,422,308				
运営外費用針 30,422,30	-	1		
		5,322,308	30,422,308	
出頭上水砂袋供養				30,422,308
コアルニノベバ、は工作的が収	当期正决财産增減額			
				297,299
				297,299

令和元年度 活動予算書 平成 31 年 4 月 1 日~令和 2 年 3 月 31 日

(参考資料 実施指針)

		国利店凱伝入 国	
% [4	額(単位:円)
I 経常収益			
1 受取会費			
・年会賽(入会金含む)	200,000		
•独自会賽	300,000	500,000	
2 受取許利金			
受取寄补金	10,000,000	10,000,000	
3 事業収益			
- 科学技術、文化、教育事業収益	30,000,000		
· 保徳、医療、福祉事業収益	10,000,000		
·国内·国察研究交流事業収益	7,000,000	47,000,000	
1 その他収益	1,000,000	±1,000,000	
	10.000		
· 受取利息	10,000	21222	
• 雑収入	300,000	310,000	
- 経常収益計			57,810,000
Ⅱ 経常費用			
1 事業費			
(1)人件賽			
給料手当等	6,300,000		
人件賽計	6,300,000		
(2)その他経費			
委託 協力経費	9,000,000		
非費交通費	3,000,000		
消耗品	3,000,000		
会勝賽	1,000,000		
	3,000,000		
通信"元派"小道黄帝 信料・移転賽等	-22		
	1,000,000		
印刷・成果発表径費	5,000,000		
	1,000,000		
報費	2,000,000		
その他の経費計	31,000,000		
事業費計		37,300,000	
2 管理費			
(1) 人件賽			
給料手当等	6,000,000		
人件賽計	6,000,000		
(2)その他経費			
委託-協力経費	4,000,000		
消耗品	5,000,000		
会裝費	1,000,000		
通信・光熱・水道賽等	1,500,000		
通信・元級・小理大学 信料・移転費等			
	2.000.000		
起 发 公縣			
	500,000		
維養	510,000		
その他の経費計	14,510,000		
管理費計		20,510,000	
経常費用計			57,810,000
当期経常増減額			0
Ⅲ 径常外収益			
1 進備金(前期操植)			
- 進備金(移転等)	2,600,000		
2 新事業遵備金債入金(組織内)	5,322,308	7,922,308	
在常外収益計	0,022,000	1 7555440	7,922,308
			1,366,300
1 遺體金			
	5 500 000		
・道僧金(移転等)	2,600,000		
2 新事業準備金(仮払含)	5,322,308	7,922,308	
経常外費用計			7,922,308
当期三味財産増減額			0
前期操截三味財產額			297,299
次期操轄三味財産額			297,299

1.6 定款の改正 <総会 審議事項⑦>

改正点1: 第2章 目的及び事業 (特定非営利活動の種類) 第4条 に

(1) 科学技術の振興を図る活動 の項目を挿入し、以下の番号をずらす。

(改正理由: 法人設立時になかった本項目が法改正により可能になっているため。)

改正点2: 第9章 公告の方法 (公告の方法) 第55条 の内容

「この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。」を

「この法人の公告は、この法人のホームページに掲載して行う。」に変更。

(改正理由: 公告の方法をホームページ掲載に絞り、実態に合わせ、合理化と官報掲載をやめ節約する

ため。)

これらの定款改正の施行日は、理事会にて決める。

(参考)

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 定款

平成13年10月4日 法人設立総会 定款制定

平成14年1月8日 内閣総理大臣法人設立認証

平成14年1月21日 施行 法人成立(法務局登記完了)

令和 元年 6月22日 第4条、第55条改正総会決定・施行日は理事会に一任

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、科学技術などの研究とその周辺活動の学際的・国際的かつ柔軟で迅速な推進に関する事業を行い、不特定かつ多数のものに対する、理性と叡智、世界の文化・教育、心身の健康、生活と社会・環境の向上、生き甲斐の創成、情報交流に寄与し、福祉と自然との調和ならびに世界の平和に貢献することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

(1) 科学技術の振興を図る活動

(本項目を挿入する)

- (2) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (3) 社会教育の推進を図る活動
- (4) まちづくりの推進を図る活動
- (5) 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (6) 環境の保全を図る活動
- (7) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (8) 国際協力の活動
- (9) 子どもの健全育成を図る活動
- (10) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第 55 条 この法人の公告は、この法人の 掲示場に掲示するとともに、官報 ホームページに掲載して行う。

1.7 役員選出 <理事会/総会 審議事項⑧>

令和元年度 役 員 名 簿

(令和元年7月1日から令和2年6月30日まで)

令和元年6月22日総会版

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

		特 上 并 呂 利 石 期 伝 人 国 医 活	
役 名	氏 名	所属・肩書	備考
会長 (理事外)	髙良 和武	(財)総合科学研究機構 理事長、(学)筑波研究学園 会長東京大学 名誉教授 元 科学技術庁 参与	元 理事長 (名誉職)
理事長	山本 幹男	国際生命情報科学会(ISLIS) 理事長(元会長)・編集委員長元 東邦大学理学部 客員教授・千葉大学大学院 助教授元 科学技術庁 放射線医学総合研究所 研究室長元 ワシントン大学 にて研究	情報・研究 センター長
副 理事長	河野 貴美子	IRI 健康科学研究所 所長、IRI 生体計測研究所 所長 国際生命情報科学会(ISLIS) 副会長(元会長)・事務局長 元 東邦大学 理学部 非常勤講師、 元 日本医科大学	
理事	池上 直彦	長野県 伊那市 市議会議員 元 長野県伊那市 長谷総合支所長、 元 産業振興課長 元 伊那市観光協会観光 プロモーター	長谷 支部長
理事	鈴木 エドワード	鈴木エドワード建築設計事務所 代表取締役	
理事	ヘ゛ッカー カール フ゛ラット゛リー (BECKER CARL BRADLEY) (別華 薫)	京都大学 医学部内 政策のための科学ユニット特任教授	京都大 支部長
理事	向井 俊博	(有) コパン 代表取締役、 元 富士通ディジタル・テクノロジ(株)取締役	
理事	高木 治	IRI 情報研究センター 科学部長、 元 埼玉短期大学 情報メディア学科 准教授	事務局長
理事	白木 享介	PSP 株式会社 取締役 兼 執行役員	弘前 支部長
理事	青山 圭秀	カリフォルニア州立大学元 客員教授 (株) アートオブサイエンス 代表取締役	
監事	北川 壽昭	国際生命情報科学会(ISLIS) 幹事、 NPO 法人 気功文化センター 常務理事、 元 日本電気 医療機器事業部エグゼクティブエキスパート	
監事	大山 玄	IRI 主任研究員、多摩リハビリテーション学院 非常勤講師、元 郵政省電波研究所 主任研究官、元 徳島大学医学部 講師	

前年度からの役員変更 理事退任 三宅 俊明 (PSP 株式会社 取締役 会長 弘前支部長)

理事追加 白木 享介 (PSP 株式会社 取締役 兼 執行役員、弘前支部長)

理事追加 青山 圭秀 (カリフォルニア州立大学元 客員教授

(株) アートオブサイエンス 代表取締役)

幹事(役員外) IRI情報研究センター 技術部長・主任研究員 世一 秀雄

IRI 情報研究センター 理事長補佐・主任研究員 根本 泰行

特定非営利活動法人 国際総合研究機構(IRI:アイリ) 組織表 2019年6月22日

■ IRI 会長(名誉職) **髙良 和武**((財) 総合科学研究機構 理事長、(学) 筑波研究学園 会長、東京大学名誉 教授、元科学技術庁 参与)

■ *IRI* 理事長 山本 幹男 (元 東邦大学 客員教授、

元 科学技術庁 放射線医学総合研究所 研究室長、 元 ワシントン大学 にて研究、

元 千葉大学 客員助教授、 元 東北大学 講師) 電話 090-9232-9542 Fax: 043-255-9143 E-mail: nsnpoiri@gmail.com

■ IRI 副理事長 河野 貴美子 (IRI)健康科学研究所所長、 国際生命情報科学会 副会長、元 日本医科大学) ■ *IRI* 理事長補佐 根本 泰行 *IRI* 主任研究員

■ *IRI* 本部(主たる事務所)(*IRI* 連絡先 当欄下記)

■ IRI情報・研究センター

本部長・センター長:山本 幹男 理事長 副本部長:根本 泰行 IRI 主任研究員

事務局長: 高木 治 IRI 情報研究センター 科学部長

実務主任:古谷 祐子

IRI 連絡先 〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1108-2 4 階

電話: 043-255-5481, Fax: 043-255-5482

E-mail: iri@a-iri.org http://www.a-iri.org/iri-jp/

■ IRI 長谷支部(従たる事務所)

支部長:池上 直彦 理事

(伊那市議会議員、元 長野県伊那市 長谷総合支所長、

元 伊那市観光協会観光 プロモーター)

電話: 0265-98-2211, Fax: 0265-98-2029

E-mail: iina00093.ikegami@gmail.com 支部:〒396-0401 長野県伊那市長谷非持 2654

■ IRI 弘前支部(従たる事務所)

支部長:白木 享介 理事 (PSP ㈱取締役兼執行役員)

〒106-0031 港区西麻布 4-16-13 西麻布六本木通ビル (9 階 PSP 内)

電話: 03-3406-2310, Fax: 03-5485-2479

E-mail: kyosuke.shiraki@psp.co.jp 支部:〒036-8003 青森県弘前市駅前町 15-3 武田ビル

電話: 0172-31-0818 . Fax: 0172-31-0828

E-mail: s.matsuyama@psp.co.jp

■ IRI 京都大支部

支部長:別華 薫 (BECKER, Carl Bradley) 理事 (京都大学 医学部内 政策のための科学ユニット特任教授) 〒606-8501 京都市左京区近衞町 京都大学 医学部内

電話: 075-753-9486, Fax: 075-753-9486 E-mail: becker.carlbradley.5e@kyoto-u.ac.jp

海外支部

■ IRI 北戴河支部 (中国河北省) 支部長:王 鳳桐 主任研究員 (中国 河北省 医療気功病院 院長)

河北省医療気功病院 内 中国 河北省 北戴河東經路 198 號

電話:+86-335-4025753 Fax:+86-335-4025754 日本連絡先: IRI 情報・研究センター

研究組織等

■ IRI 倫理委員会

委員長:河野 貴美子 IRI 副理事長

■ *IRI* 生体計測研究所(*IRI*情報・研究センター内) **所長:河野 貴美子** 副理事長(元 日本医科大学)

■ *IRI* 生体放射研究室(*IRI*情報・研究センター内)

室長:山本 幹男 理事長

■ IRI 健康科学研究所(IRI 情報・研究センター内)

所長:河野 貴美子 副理事長

(元 東邦大学 理学部 非常勤講師、元 日本医科大学)

■ *IRI* 健康法普及会 (*IRI* 健康科学研究所付属)

会長:伊藤 正敏 (東北大学 名誉教授、

仙台画像検診クリニック 院長)

■ IRI 幸福社会研究所

(連絡先: IRI 情報・研究センター内) **所長: 伊藤 武彦** 和光大学 教授

■ *IRI* 生命哲学不知火研究所 所長:北岡 秀二 (国際生命情報科学会 特別顧問、 元 人間サイエンスの会 顧問、元 法務政務次官・ 元 参議院議員・参議院文教科学委員長)

E-Mail: ryozan@stannet.ne.jp

■ IRI 北杜健康研究センター

理事長:高橋 武生

■ IRI 理論物理学研究所

所長:種市 孝 (元 東京大学、電気通信大学)

〒206-0021 東京都多摩市連光寺 1-35-22

E-mail: sanshiro201@dream.bbexcite.jp Fax:042-356-0283

■ *IRI - College* (アイリーカレッジ^{*}) (*IRI* 情報センター内) 学 長:山本幹男理事長 http://iri-colleg 副学長:河野貴美子 副理事長 http://iri-college.org/

E-mail: npo.iri.college@gmail.com

■ *IRI* 自然愛好会・自然研究会 (*IRI*情報センター内) 会長:世一 秀雄 (*IRI*情報研究センター 技術部長)

E-mail: voichi@npo-iri.org

■ *IRI* 「いやしのビル」企画委員会 委員長: 山本幹男 *IRI* 理事長 電話 090-9232-9542

E-mail: nsnpoiri@gmail.com

関連団体

事務局受託:「国際生命情報科学会 (ISLIS)」http://www.islis.a-iri.org/ islis@a-iri.org IRI 情報・研究センター内

NPO - International Research Institute (NPO-IRI)

特定非営利活動法人 **国際総合研究機構** (略称: NPO-IRI、アイリ)

組 織 図 2019年6月22日 版

会 **員 総 会** | **構成員=社員会員**(議決権を持つ会員の事で、一般の社員の意味ではない) 会長 | 理事会 | 監事 (会長は名誉職) - 副理事長、 理事長補佐 1111 理

倫理委員会-委員長-委員

本部(主たる事務所) **一本部長・副本部長一本部事務局一事務局長・次長**一実務主任一実務員

(在 千葉市稲毛区園生町(そんのうちょう) 1108-2 ユウキビル 4FA 室)

─情報研究センター ーセンター長・副センター長 (在 千葉市稲毛区、 本部共)

生体計測研究所 一所長・副所長一所員・客員(本部内)

健康科学研究所 一所長一所員 客員(本部内)

付属 健康法普及会 一会長一会員・参加者

幸福社会研究所 (WHI) 一会員一所長一所員·客員 (本部内)

理論物理学研究所 (在 東京都多摩市)

生命哲学不知火研究所 一所長・副所長一所員・客員 (在 徳島県美馬市美馬町)

IRI-College - 学長·副学長-教授陣-学生·受講生(在 千葉市稲毛区、本部内)

自然研究会·自然愛好会 一会長一会員·参加者(本部内)

|**学会・学会誌 受託部** 一実務主任・編集部員一実務員(本部内)

国際生命情報科学会(ISUS) 事務局受託、 生命情報科学シンポジウム 共催・運営受託、 同国際学会誌 Journal of International Society of Life Information Science 発行受託

京都大支部 一会員一支部長(在 京都市左京区)

|**北杜健康研究センター -理事長-センター長**(在 山梨県北杜市)

北戴河支部 一会員一支部長(在 中国河北省北戴河)

|弘前支部(従たる事務所) 一会員一支部長一実務員|(在 青森県弘前市駅前町)

長谷支部(従たる事務所) 一会員一支部長(在 長野県伊那市長谷)

平成30年度 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 理事長 山本 幹男 殿

令和元年5月27日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の活動報告、事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について監査を行った。

監査の結果は下記の通りである。

記

- 1. 事業は本会の目的を達成するために、事業計画に基づき 適正に執行されていることを認める。
- 2. 財務は本会定款に従い本会事業のために正しく運営されていることを認める。
- 3. 活動計算書、貸借対照表、および財産目録は、本会定款に従い本会の財産および収入支出状況を正しく示しているものと認める。

以上

